

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年7月分：速報)

<対世界>

- 輸出総額：7,476 億円(伸率：+28.6%) ⇒ 5か月連続のプラス
 - ・順位：21位、7月としては3位
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(511か月、7月は43か月)による。以下同じ。)
 - ・増加品目：鉄鋼(同2.3倍)、自動車(同+32.1%)
- 輸入総額：6,147 億円(伸率：+50.1%) ⇒ 4か月連続のプラス
 - ・順位：74位、7月としては9位
 - ・増加品目：原粗油(同2.3倍)、金属鉱及びくず(同+62.7%)
- 差引額：1,329 億円(伸率：▲22.6%) ⇒ 79か月連続の輸出超過
 - ・順位：46位、7月としては5位
 - 為替レート：2021年7月：110.55円/ドル(2020年7月：107.23円/ドルと比べ3.1%の円安)

<品目別動向>

○輸出

鉄鋼(380億円→862億円、伸率：2.3倍)は、タイ(27億円→233億円、同8.6倍)及びEU(4億円→111億円、同25.6倍)向けが増加し、9か月連続のプラスとなった。また、自動車(1,333億円→1,761億円、同+32.1%)は、中国(692億円→871億円、同+25.8%)及びサウジアラビア(1億円→77億円、同60.7倍)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等製造装置(570億円→417億円、同▲26.9%)は、中国(227億円→99億円、同▲56.5%)及び韓国(314億円→270億円、同▲13.9%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

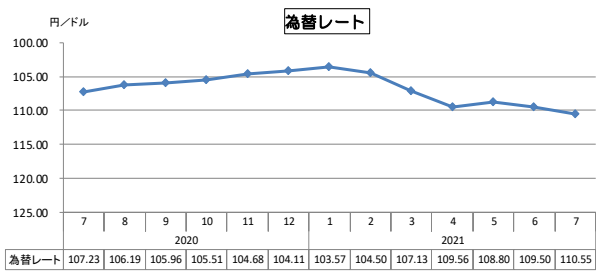
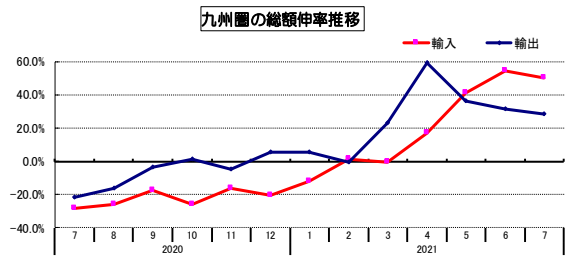
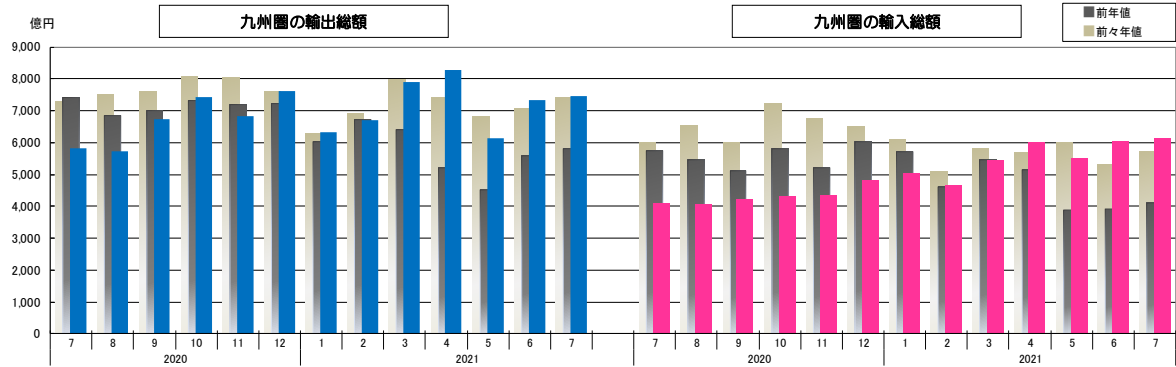
○輸入

原粗油(222万KL→240万KL、伸率：+8.2%、500億円→1,154億円、同2.3倍)は、数量、価額ともに増加し、3か月連続のプラスとなった。また、金属鉱及びくず(453億円→737億円、同+62.7%)は、鉄鉱石(133億円→304億円、同2.3倍)が増加し、9か月連続のプラスとなった。

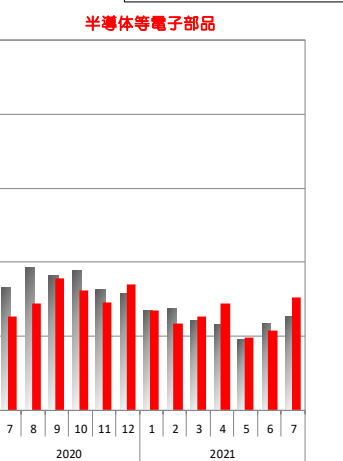
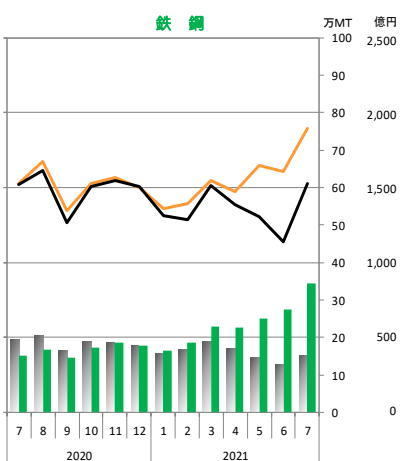
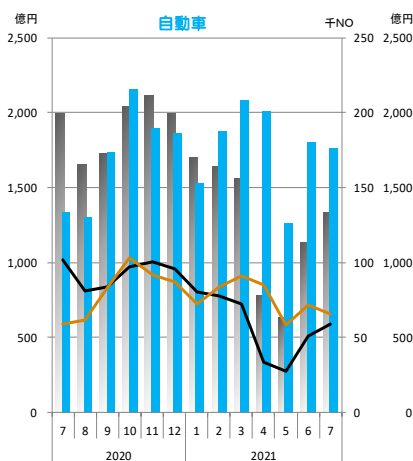
一方、衣類及び同附属品(56億円→46億円、同▲17.8%)は、中国(33億円→26億円、同▲20.7%)及びインドネシア(3億円→2億円、同▲48.1%)から減少し、3か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

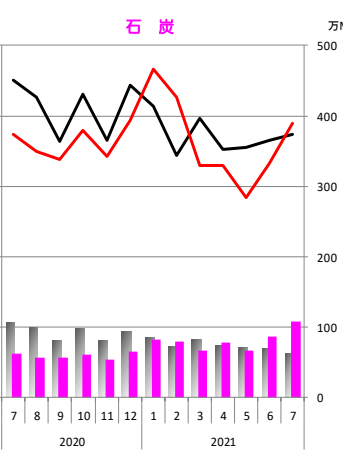
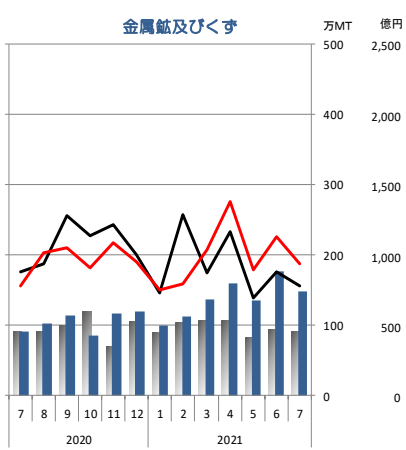
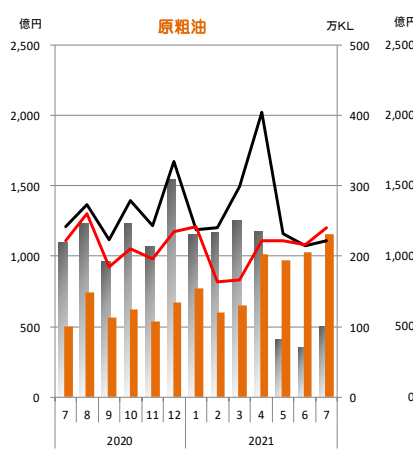
令和3年7月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。